この時代、文学の継承のためには情報科学は必要不可欠な存在だといえる。文学の継承のために何が大切なのか考えてみた。まず一つ目が「そうゆうものがあることを知ってもらうこと」二つ目が「面白いな、興味深いなと思わせること」そして三つ目が「さらに知りたいと思わせること」だ。私は一つ目と二つ目はもう情報科学の力で実現していると考えている。今文学作品を知る機会なんて腐るほどある。例えばアニメにゲーム、超会議ではミクと歌舞伎がコラボしていた。これは二つ目にも関係していてそれらの娯楽から存在を知り興味を持つという流れができる。それなら今やるべきことは何なのか。それは今までのように知ってもらう機会を提供しつつ、もっと深みにはまってもらうための三つ目を充実させることだ。例を出すと授業で使った百人一首の歌集を見られるところで歌と現代語訳だけではなくそれにまつわるストーリーを載せるなどが考えられる。